

海外安全対策情報 2019 年度第 2 四半期（7～9 月）

在デンマーク日本国大使館

クリスマスシーズンに入り多くの観光客や買い物客が見込まれる中、クリスマスイベントなど人が集まる場所はテロの標的になりやすいことに留意し、安全確保に十分注意を払ってください。

本年度第 2 四半期のデンマークの治安情勢は下記のとおりです。

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪情勢の概況

デンマーク国内の犯罪発生件数は近年減少傾向にありますが、日本と比較すれば犯罪発生率が非常に高い状況に変わりはありません。例えば、2018年の統計で人口10万人あたりの犯罪発生件数（発生率）を比較すると、デンマークは日本の約9倍になります。

また、首都コペンハーゲンを中心にギャング同士の抗争と見られる銃器による殺人事件や爆発事件が相次いで発生しています。

（2）邦人被害の発生状況

7月から9月にかけて、当館で把握している限りで、スリや置き引き等により、13件の旅券盗難(紛失)事案が発生しています。被害の多くは、空港や駅、観光地で発生している他、ホテルの朝食会場で席取りのためバッグ等をテーブルの上に置いて盗まれるケースが多く、外出先では常に防犯意識を高く持ち、携行品から目を離さないように十分注意してください。

2 テロ・爆弾事件発生状況

8月6日、コペンハーゲン市内で国税庁建物正面が爆破された事件が発生したほか、ギャングの抗争と見られる爆発事件が同市を中心に続発しています。

デンマーク国家警察関係者によりますと、ギャングの抗争自体は取締りを強化し逮捕者が増加したことで、現在は沈静化しつつあるとのことですが、依然として爆発や銃撃事件が発生しています。特に、爆発事件は深夜時間帯（午前2時から午前4時の間）に多く発生していますので、同時時間帯での外出は控えるなど注意が必要です。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害にあった事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は認知していません。（了）